



3万人がつどう 「横須賀に原子力空母くるな、7.9首都圏大集会 in 横須賀」

光彩放つ 8月15日行動



No.386

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島 2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
Eメール chian@plum.plala.or.jp
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110-6-97793
定価 50円

主 な 記 事

- 各地の都道府県本部総会開く……………2
- 顕彰碑／大沢野村小作争議・富山県……………5
- 時の焦点／テポドン2号……………5
- 抵抗の群像／矢後利明・宮城県……………6
- 同盟歌壇／碓田のぼる選……………7
- 書棚／『教育の国家統制法』……………7

記録的な長梅雨、お見舞い申し上げます。
八月十五日、小泉首相はじめ閣僚の靖国神社参拝が世界の注目を浴びています。

元宮内庁長官の富田朝彦メモが発覚、戦犯第一号が本来国際通念だった昭和天皇ですら、A級戦犯合祀後は靖国参拝を中止した、その心理的動機が伝えられました。天皇以上に靖国参拝にこだわり国際的孤立を招いてはばからない、小泉首相の言動の極度の不条理、反社会性がいつそう明かになっています。

それだけにことは、私たちの八月十五日行動が一段と光彩を放つものとなりました。

「二度とくりかえさせません、『戦争への道』と大書したよびかけは、小泉首相や閣僚たちの靖国参拝に反対する多くの国民はもちろん、十五年に及ぶアジア・太平洋戦争ですべての犠牲者の心でもあります。

「靖国戦争史観」を打ち破って、「憲法平和史観」を語り伝え、書き遺すこと、私たち同盟運動の基本の一つです。

秋のポスト小泉確定後の臨時国会は、ふたたび教育基本法改悪法案はじめ憲法改悪先取りともいえるべき悪法山積の重大な時機となっています。

戦争への危機感とともに莫大な重税や公共料金の引上げに、国民は「怒り心頭」です。

いよいよ夏本番、おおいに学び、おおいに浩然の気を養い、確信をもって大事な秋の国民共同のたたかいに備えましょう。

各地の都道府県本部総会開く

五月の国会請願を成功裏に終えたあと、各都道府県本部では総会・大会を開催、運動の総括と新たな方針、新役員など確定しつつあります。以下、現在までの取り組み状況をお伝えします。文中①は開催月日、②は参加者数、③は新三役名、④は総会の特徴です。

北海道

①六月二十六日。終了後、道同盟結成三〇周年祝賀会

②四九名

③会長・外尾静子、副会長・前田大蔵、横山博子、事務局長・伊藤俊、同次長・宮田汎

④侵略戦争を正当化する政治情勢を許さず、九条改憲反対の国民的多数は結集のために全力をつくす。このためにも同盟の役割・存在意義を深くつかむことを確認。

山形県

①五月二十八日

②四一名

③会長・逸見光雄 副会長・島津昭、石塚知二、国井浩之、美濃啓三、石垣政志、事務局長・鈴木光子

④目標一万、四百団体、会員目標三五〇名、国会行動二名を決め、「犠牲者名簿」と「戦争体験記」発行、議会請願委員会のたちあげ。

宮城県

①七月二十二日

②二五名

③会長・大川芳夫

④日本が重大な岐路に立っている情勢のもとで、「同盟」の役割は大きく、戦争と人権抑圧、そのなかでの先輩たちの闘いの歴史と現在の情勢を語りつつ、大いに頑張ろうと積極的な論議を行った。

福島県

①七月二十二日。終了後、総会記念講演会「地方史から教育基本法を考える」講師・呑川泰司

②二八名

③会長・加藤起、副会長・増子善七、平島精一、木口重、保知雄三郎、渡辺藤一、事務局長・山口文彦、同次長・目黒剛夫、菅原勝義

④請願署名の目標達成めざし、県内各支部の体制を整備し、草の根運動をつくりあげる。そのための学習の重視、県版「不屈」を充実させ、犠牲者の業績を語り継ぐ。「戦争する国」を絶対に阻止するため奮闘する。

東京都

①七月十三日

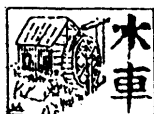
②四五名

③会長・宮田勝、副会長・山崎元、川口弘、佐藤滋郎、境鶴雄、事務局長・松井久雄、同次長・藤本増美

④情勢打開にむけふたび治安維持法体制の復活を許さない同盟の出番の自覚を高め、強大な都同盟建設をめざし、多面的な活動のなかで困難をのりこえ、運動が発展している活気ある討議だった。

茨城県

①七月十六日



400万世帯が生活保護水準以下。非正規雇用が1600万人、3人に1人は正社員ではない。都会

では定職に就けない若者が急増▼秋田では人の住まない集落が100を超えた。1畝の米づくり農家でも販売競争がはげしく、収入はほとんどない▼妻をなくし5年前会社を解雇され、中1と小6の子

ども2人を男手で育てる50歳の父親は、週3日深夜など3つのガソリンスタンドをかけもちで働いて年収200万円▼見ましたか。NHKスペシャル「ワーキングプア」働く貧困層(7月24日放映)の

一コマ。コメンテーターは、政府、企業が責任を果たしていない「一刻も早く対策を。社会全体が衰弱していく」▼格差社会は悪いことではない」と開き直る小泉首相

だが、経済協力開発機構(OECD)は20日、対日報告書で日本の所得格差が拡大し、相対的貧困率がアメリカに次いで二番目と指摘

労働市場の正規社員と臨時雇用の二極化の是正を勧告した。(幹)

②十二名、委任状三十一名
 ③会長・空席、副会長・海野幹雄、小島真、杉田要一、事務局長・久保田俊雄、同次長・人見章太郎
 ④国会請願後、署名六五〇〇を出足早くとりくみ、若返り、後継者づくり、財政確立のため会員拡大にとりくむ。顕彰活動の前進を柱にあげる。憲法と治安維持法署名を車の両輪としてとりくむなど熱心な討議となった。

埼玉県

①七月十五日
 ②二五名
 ③会長・近藤一雄、副会長・高根賢一、高橋旦、矢島恒夫、事務局長・小口巽、同次長・加納幸子
 ④県本部の活動と力量を高めるために、何をなすべきかについての意見、課題として、署名・会員拡大・名称(団体)・女性部について、「戦争展」など討議。

新潟県

①七月二十三日
 ②約四〇人
 ③会長・小林与蔵、副会長・川口

昌一 事務局長・北村直吉、同次長・加藤進、庭山和好
 ④治安維持法体制の復活に反対するなどの方針確立、六月発行の解放運動と戦争遺跡を記録した「風雪の大地に刻む」は二年間、二〇人以上の資料提供者、八人の編集部で完成、これを広く普及する。



同盟新潟県本部大会

長野県

①七月十二日
 ②四二名
 ③会長・河原田和夫、副会長・山口光昭、荒井俊信、吉沢真、佐藤一、峰村晃弼、出澤光治郎、中平章雄、岡沢郁夫
 ④署名、会員、会費の到達・率・残、納入状況等を支部別に明らかにした討議資料を作成、進んだ支

部、遅れた支部の教訓、原因を率直に出し合い、〇六年度の指標をやりきるために支部役員体制の確立と会議定例化を確認。

岐阜県

①六月二十五日
 ②四五名
 ③会長・神戸照、副会長・晴川睦子、片桐義之、稲熊次郎、事務局長・赤星守男
 ④個人署名目標を突破した中濃支部古田さん、個人署名三〇〇名余の署名を集めた生田さんらが実践に基づいた生き生きした活動報告がされ、大会は「共謀罪」廃案を求める特別決議をした。

広島県

①七月十五日
 ②九人
 ③会長・山田慶昭、副会長・上田博則、清水達男、事務局長・片桐隆三、同次長・東博登、大畑実男
 ④反核平和の世界の基地である広島島の目の前、岩国への米艦載機増駐は絶対に許されない。地域活動と結合し靖国史観克服の同盟の特

別の任務を自覚して奮闘しよう。

和歌山県

①六月十日
 ②三六名
 ③会長・藤澤弘太郎、副会長・市野勝司、中平喜祥、事務局長・引地延子、同次長・森下澄子
 ④昨年の反省から出足早く支部総会・幹事会開催を重視し、集団で討議して自主目標を決め、計画を立て行動することを提起、また学習の重視も。

鳥取県

①七月一日
 ②二五名
 ③会長・伊藤昭二、副会長・浅井慶和、宅野亮介、田江裕、事務局長・草刈司、同次長・保田睦美
 ④署名目標は人口比一%以上の六二〇〇に。会員は三一〇の到達を三五〇人の目標に。女性部は「楽しく活動」をモットーに会員比五〇%をめざす。討議は出足早く、情勢にこたえる活動を。

山口県

①七月八日

②一五名

③名誉会長・田熊真澄、会長・林洋武、副会長・柴田晃尾、三村まちよ、安村モミヨ、事務局長・大田智美

④昨年の活動をふりかえりながら田中サガヨの顕彰をいっそうすすめる。昼食にはビールで乾杯、同盟のいっそうの前進を誓った。

愛媛県

①三月三十日

②二〇名

③会長・中川悦良、副会長・岡田厚美、小倉誠一郎、事務局長・空席

④会員一〇〇名突破、今治支部結成の経験、「多喜」上映成功等の前進を力に、目標達成をめざす方針を提案。全会員が自主目標をもつ。団体への協力要請の重要性、楽しい女性部活動等活発に討議。

福岡県

①七月二十五日

②三五名

③会長・角銅立身、副会長・舟越甲一久野精士、宮本秀国、野村実智明、堺弘毅、川口伊智子、事務局長・橋本幸夫、同次長・濱地龍男

④国会請願の代表を早く決め、請願署名三万筆を達成するため全会員一人一〇筆の達成を決意。

へよびかけ

規約問題検討委員会

発足にあたって

同盟の運動は、国会請願署名運動、治安維持法犠牲者についての顕彰活動が多様に発展し新しい会員も増えつつあります。

この中で、「実態に見合ったよりわかりやすい規約を」の声も聞かれ、このたび中央に「規約問題検討委員会」(委員長 増本一彦 副会長)を設けました。

この機会に、会員の皆さんの日ごろ感じている疑問・意見・提言など中央本部「規約問題検討委員会」宛にお寄せくださるよう呼びかけます。八月末まで。

2度とくりかえさせではなりません「戦争への道」

8月15日は「終戦記念日」

平和の声をみんなで



米原子力空母カールビンソン＝ロイター・ゲン

日本をアメリカいいなりの戦争する国にしてよいのでしょうか

横須賀に原子力空母が！事故が起これば首都圏全体がとりかえしつかない大惨事に。また米軍基地強化のために、日本が三兆円負担するなどんでもないとなのに、ブッシュ小泉会談では「地球的規模に拡大した日米同盟のいっそうの強化を」と言っています。

自衛隊は米軍と一緒に世界中どこへも派遣されることになります。

子どもは

「お国のためのもの」じゃない

「テロリスト」上陸の想定で展開された自衛隊主催の演習に、小学生二〇〇人が動員された。たゞ、国では学校通知書の愛国心評価が問題になり、東京では中小学校に靖国神社遊就館への無料見学案内のポスターが配られています。

戦時中「お国のために命を捧げる男の子をたくさん産み育てます」と書いて「秀の成績をもった女性」が「私のような解答を書く子どもを一度とくらないで」(朝日新聞)と訴えています。

憲法と教育基本法を守りましょう

戦後の日本の再建は平和憲法に基づき進められてきました。その憲法の理念を実現するためにも、次代を担う子どもたちのすくやかな成長のために、教育こそが力です。

憲法と教育基本法の改悪をけしめてゆるしてはなりません。

私たち治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は「再び戦争と暗黒政治を許さないために、皆さんといっしょに力をつくします。」

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

東京都文京区湯島2-4-14 平和と労働センター

8月15日「終戦記念日」ビラ見本

顕彰碑

||||| 探訪

暴力団を使つての年貢取り立てに 二〇〇名をこえる農民が決起した 大沢野村小作争議の顕彰碑

今年三月、富山市西塩野に、戦前の旧大沢野村小作争議の顕彰碑が建立された。

この争議の発端は、昭和四年、荒野であることを憂慮し、「五年間無年貢」であった開拓入植者との約束を地主が一方的に反古にしたことにあった。この年の十二月、飯米にも事欠く農民たちは、山崎友則、湯浅治作らの呼びかけで全国農民組合富山県連合会大沢野支部を結成、水貢米・古田の増米、耕作地の取り上げに反対し闘いに立ち上がった。

争議は長期化し、昭和八年十月、

地主側が農民組合幹部三名の立稲・動産の差し押さえを富山地裁に申請し、暴力団を狩り集め、稲の刈り取りを強行、これに対し二百名を超える農民が救援に駆けつけ、稲鎌を手

に実力で対抗した。

同年十月から十二月にかけて、県下一斉に弾圧が行われ、大沢野支部の農民十名余も治安維持法違反で検挙されたが、残された組合員は、富山地裁に調停を申し立て、その年の十一月末、五年間の水貢米を棒引きにする、訴訟は取り下げる、争議費用の一切を地主側が負担するなどで合意をみた。

この度の顕彰碑は、治安維持法同盟が「先人の汗と涙、血を以って築き上げてきた歴史を永く伝えよう」と呼びかけ、十一名の遺族が賛同して実現した。

富山県本部事務局長

小森修



時の焦点

テポドン2号ふくむ七発のミサイルが発射されて、にわかに日本海は黒くき臭い戦雲に覆われました。額賀防衛庁長官は「敵基地先制攻撃論」、安倍官房長官は「その先制攻撃能力の準備」、麻生外相にいたっては「米軍再編に絶好のチャンス」などと好戦的な本音を口走り、小泉・ブッシュ会談での「日米軍事同盟の世界的展開の合意」の裏づけともなっています。

ミサイルとは、機体内で燃料を燃焼させるロケットを噴射で、高速度で標的に誘導命中させる運搬手段。北朝鮮はすでに核爆弾二、三発を保有していると公言していますが、ミサイル自身は核爆弾でないものの、核兵器体系の一部で、弾頭部分に、通常爆弾も核爆弾も取りつけられる、核・非核両用の兵器

ミサイルは、長距離(五〇〇キロ以上)、中距離(二五〇キロ以上五〇〇キロ未満)、短距離(二五〇キロ以下)に区分され、テポドン2号は長距離型、テポドン1号は中距離型、ノドン短距離型に属します。

テポドン2号

ちなみに航続距離二五〇キロというところ、ちょうど北海道の稚内から沖縄の那覇までの距離に相当します。世界の現状は、ミサイルが核・非核両用の運搬手段であるだけに、核兵器保有国はじめ多くの国が各種ミサイルを多数保有し、さらに開発増強中です。

ミサイルはまたすでに実戦に使われています。一九九一年の湾岸戦争。

アメリカは新型兵器の格好の実験場とばかりに、ペルシャ湾の軍艦から巡航ミサイル・トマホークをイラク攻撃に発射しました。トマホークは一機約七億円。二五〇キロ飛んで誤差はわずかに三メートルという正確さ。

今回の北朝鮮のミサイル発射は実験とはいえ、「公海上、関係諸国への予告・通知なき国際法違反。『六カ国協議』と『日朝平壤宣言』での核問題凍結の合意違反」という明かな不法行為。

国連安保理事会では日本やアメリカの「経済制裁から軍事制裁への」強硬論を排して、ミサイル発射の不法性をきびしく非難決議のうえ、北朝鮮の猛省を促す平和解決をめざして、努力がつけられています。

(元)

抵抗の群像

三十歳の若さで労農の解放に殉じた



矢後利明

石巻市 芳賀芳昭

仙台から西北約五十キロの地・涌谷町にある標高二二メートルの笹岳山の山頂近くに樹齢一〇〇年をゆうに越す一本杉の脇に「矢後利明くんここに眠る」

菊地養之輔書

「矢後利明 本名利一 一九〇二—一九三二」は静岡県小山町に生まれ大正末期宮城県に來り、日農県連書記長として農民運動に献身し昭和七年遂に斃る。若き優秀なる闘志として、東北農民の解放に尽くしたその功を永く伝えるために氏の意志により農民運動の画期となった前谷地事件ゆかりの地をえらび、この碑を築く

昭和四七年一月

宮城県農民運動史刊行会「の碑文が彫られた碑が建っています」

矢後利明は昭和七年五月二日

に石巻市赤病院で亡くなりました。行年三〇歳の若さです。碑文に「氏の意志により」とあるのは、矢後が「地主の齋善と大森を見下るせる所に葬ってくれ」との「遺言」をさしています。

五月二十九日に行われた農労葬は、弁護士布施辰治、菊地養之輔、医師の坂猶興、全農全会派の幹部など五十人ほどの参加で行われました。笹岳山裾の組合員・我妻宅から棺を担いで登る隊列に「金魚の糞のように大勢の警官がついてきた」「弔辞のすべては覚えていないが、怒みを呑んで葬る」との一言は何十年経っても思い出す」と最後の生き証人の大友ときよさん（昨年九四歳で死去）が語ったように、葬儀を行うこと事態が体制との対峙そのものでした。

「前谷地事件」は、昭和三年三月三十一日に全国屈指の千町歩地主である「齋善」による「土地取り上げ」を主力（共同耕作）で阻もうとする中で起きた抗争。共同耕作という戦術の決定は長く語りぐさになった「馬あるものは馬に乗り、鍬鋤手にし、弁当持参で前谷地に参集せよ、目的は齋善家にある」の電報とビラで伝えられ、参集した組合は十三支部、四五〇人、小作田の田起こしを行っていた中、警察がトラック二台で乗りこみ「矢後を検束」したことに農民が「奪還」せんと乱闘に。矢後などの冷静な対応で事態をおさめ、警察署長を仲介にして1、今後小作地は永久に立付けれること。2、滞納した小作料は三カ年月賦で支払うこと。という農民側の全面勝利で終結。しかも、警察署長に「この日の争議では、一切の検束者逮捕者は出さない」との誓約を参集した農民の前で行われたのです。

県特高は現場の警察署長が交わした誓約など意にかえさず、一〇数名を逮捕、八名が起訴され、矢後は、懲役六カ月の実刑。刑期を

終え出所（昭和四年四月）した時には、当時「不治の病」・「結核」に冒されていたというのです。

出所直後に「四・一六」全国一斉検挙でした。全農宮城県連幹部の多くも検挙され、否が応でも矢後は、県連の再建、支部援助、裁判、地主との折衝等々で身体を癒す間もなかったことは、容易に想像できます。

それにしても静岡県小山町生まれの矢後利明（本名利一）が、なぜ宮城の地で、しかも農民の信望を得て活動することになったのか。そこには矢後の前史とも言うべき富士紡労働者として小山工場との争議に深く関わり、社会の矛盾と権力に立ち向かう思想を体得していたこと、友愛会の鈴木文治が宮城出身だったことの関係も推測されます。尚、郷土史研究者の岩田昴先生の富士紡労働者・矢後利一の生涯」と「月刊するが」の今年二月号・新山麓漫歩での「労農運動家の苦闘 矢後利一の生涯」の論文は矢後の生涯を解き明かしている貴重な文献ですので紹介しておきます。

同盟歌壇

碓田のぼる選

二十歳まで山のお猿と思ひ居ぬ母校の校歌「ススミテヤマザル」
新潟県 加茂川ハル子

評 一首目、ユーモアを含むが哀感がある。「ヤマザル」は、とどまる所がないといった意味。二首目、蝉の声と滝の流れ落ちる音との競演。盛んな蝉しぐれの様である。

安保破棄のたたかい現在も想い出すせて百万のデモをやりたいし
東京府 若林 義文

評 今のような悪政の中での、作者の口惜しさの表現。おそらくは若き日の安保闘争の歴史を思い起こしているのであろうか。

ヘルパーサンが来てくれる日なり炊事場の音を聞きつつ眠っていたり
和歌山県 中平 喜祥

評 ヘルパーを心頼みにしているのであろう。仕事をしている物音を聞きながら、作者の安らいでいる様子が、一首の中に表現。

「本当の歴史の主人公は庶民だ」と神山征二郎監督は明快に説く
岐阜県 和田 昌三

評 神山監督の話は、映画の「郡上一揆」であつたか、「草の乱」であつたか。いずれも時代を動かした民衆の姿がそこにあつた。

父の死の会葬礼いう祐介君まことは自分の誕生日という
静岡県 江川 佐一

評 悲しみに耐えながら、その日が誕生日である「祐介君」が会葬礼を述べている。そのめぐり合わせを作者は痛ましく思う。

戦争と暗黒の世を「朝ドラ」もいまに伝えるいま危機ゆえに
東京都 山崎 元

評 朝の連続ドラマは、いま息苦しい戦争の時代と特高警察の横暴な姿を描いている。作者は、現在の日本と重ねて感慨を深める。

同盟地方紙に秀歌を多くお見受けします。
中央紙にも奮つてご投稿下さい。

書棚

『教育の国家統制法』

—新教育基本法案逐条批判—

日本教育法学会教育基本法研究特別委員会編 母と子社刊 七〇〇円

5月20日、全教等の主催で開かれた緊急シンポジウム「教育基本法改悪で教育はどうなる」の会場

でこの緊急出版の冊子が紹介された。政府が、他の「重要法案」とともに、教育基本法改悪法案を一気に通過させる意図をみせていた時期であつた。

四年前に、日本教育法学会内に設置された特別委員会は直ちに政府案を検討し「看過することのできない多くの問題点が含まれている」と、その全面的批判をおこな

つて発表したものである。それは、法案が「現行教基法の部分的な改正ではなく、その全面的改訂を行うことにより、実質的には現行法を廃案にして、新しい教基法に置き換えるもの」との把握に立つて、

第1部の「『改正案』の特徴と法案審議に関する主張」という全体的な分析と、第2部の「法案の逐条的検討」という両面からのえぐ

り出しという形で迫っている。まず、第1部では、現行法の「全部改正」形式の下に、その実質的廃止とまったく異質の教基法制定をめざし、教育の自主性保障法から権力統制正当法への180度の転換、公教育の国家道徳強制法への転向、競争・格差是認の教育体制づくり、包括的授権法への転落、行政権の最高部による教育改革実行を可能にする法への変質をはかるものと鋭く批判をする。

第2部では、法案の逐条的検討を通じて、より具体的に第1部の批判を裏付けている。法案が、現行法の文言を部分的に残しながら巧みに異質なものとへ変えようとする政治的意図を鋭く衝くものになっている。

今秋の国会も目前の重要な時期、ぜひ多くの人によんでいただき、学習の資料にしてほしい内容の冊子である。

(K)

『韓国平和・連帯の旅』(10・12・16)準備すすむ

申し込みは七月末で三〇名を超えました。東京八王子支部の井上さんから、ソウル西大門独立公園内に日本治安維持法遺族の会事務所があり、昨年交流してきたというニュースが入ったり、今回の旅の中味は一層充実しそうです。

七月一日には大阪府本部で「旅」に向けての学習会「日本と韓国を結ぶ視点」を行ないました。講師は河野律氏(日本コリア協会・大阪理事長)です(参加者22名)。

七月二十七日には、東京で中央本部・東京都女性部共催で「午後ティー・タイム学習会」を開き

ました。講師は青年劇場俳優・広戸聡氏で、昨年の「銃口」韓国公演から今秋、公演の「族譜」(創氏改名の日本植民地時代の韓国が舞台の演劇、ジェームス・三木脚本)のお話です。韓国公演ビデオも上映され、婦団連、国際活動日本委員会、婦人民主クラブ(再建)等他団体からの参加もあり、交流の話し合いが進みました(参加者21名)。

九月上旬(締切り時)に東京と大阪で「韓国平和・連帯の旅」参加者打合せ会を行ないますのでお早目にお申し込み下さい。

九月上旬(締切り時)に東京と大阪で「韓国平和・連帯の旅」参加者打合せ会を行ないますのでお早目にお申し込み下さい。

事務局日誌

7月7日 日本国際法律家協会理事會

7月10日 葛飾ピラ弾圧事件第十回公判

7月19日 葛飾ピラ弾圧事件公判勝利決起集会

7月21日 国際人権活動日本委員会代表者會議

池田道正

7月25日 中央三役會議

7月25日 韓国平和・連帯の旅第一回事務局會議

7月26日 中央女性部會

中央本部事務局に岡部八千代さんを採用しました。

▼訂正とお詫び 7月号「抵抗の群像」の筆者名、池田正道は、山形県庄内町 佐藤幸雄・鶴岡市

池田道正」の誤りです。

涙が止まらなかった！元気をもらった！
戦争と暗黒時代の再来を許さない！

映画「時代を撃て・多喜二」

監督・池田博穂 出演・田村高廣、赤井英和、浅利香津代、ノーマフィールドほか

全国ブロック會議の日程

ブロック	日時	会場
北海道	9月27・28日	旭川市
東北	9月19・20日	盛岡・なま温泉
関東	9月18・19日	湯河原温泉
北信越	9月16・17日	福井・あわら温泉
東海	9月27・28日	愛媛・知多半島
近畿	9月19・20日	兵庫
中国	9月12・13日	山口・萩市
四国	9月22・23日	香川
九州沖縄	9月13・14日	沖縄

特典映像

「小林多喜二を語る」

九条の会 小森陽一

女優 有馬理恵



DVD/ビデオ販売と並行して映画上映会をさらに広げましょう

………

『風雪の大地に刻む―新潟県の解放運動と戦争遺跡』

発行 治安維持法同盟新潟県本部 一、〇〇〇円

8月25日より、DVD/ビデオ・素敵な特典映像つきで発売開始
定価(消費税込) ¥3,000

………
DVD/ビデオを観て、同盟に入会を訴えましょう！

都道府県本部ごとに集約して、販売事務局(共同企画ヴォーロ)にお申し込み下さい。

TEL 03 3812 9215
FAX 03 5803 9530